文部省

平成4年度
文部省関係地球環境問題主要施設

1．今日、地球の温暖化、オゾン層の破壊など地球規模の環境問題が世界的に受けとめられているが、その根本的な解決のためには、大気、海洋、生態系にわたる地球規模の環境変化を生じさせるメカニズムについて科学的知見をよりいっそう蓄積していくことが極めて重要である。

2．文部省としては、このような視点から、地球環境問題の解明の基礎となる研究の推進を図るため、大学等の研究体制の整備・充実・国際共同研究の推進、国際機関との協力の強化等に積極的に取り組んでいく考えである。

3．また、地球環境問題の普及・啓発の一環として、学校教育や社会教育の場において、地球環境問題を含む環境問題について、それぞれの発達段階に応じて正しい理解が得られるよう環境教育の推進にも努めてまいる所存である。

（単位：百万円）

事　　項	施　　策	概　　要
基礎研究の推進	1.研究体制の整備・充実 (22,504) 22,218	○　地球環境科学分野における国立大学附属研究施設等の新設、整備等 ①東京工業大学炭素循環素材研究ｾﾝﾀｰの新設 （炭素循環素材に関する基礎的・応用的研究を行い、低熱源によるCO_2の固定化、資源化、燃料化に関する研究を発展させることにより、地球温暖化問題の解決に貢献するために、東京工業大学炭素循環素材研究ｾﾝﾀｰを設置する。）
	2.新ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ方式による大型研究の推進 (　318) 369	○　ｱｼﾞｱ・太平洋地域を中心とする地球環境変動の研究(5-3) （大気・海洋・生物の相互作用について、ｱｼﾞｱ・太平洋地域を中心として総合的観測を行い、地球規模の環境変化のﾒｶﾆｽﾞﾑ解明を目指した大型共同研究を推進する。）
	3.国際共同研究の推進 (3,521) 3,695	○　各国の研究者との国際的な共同研究を推進 ①北極圏地球環境共同研究 （米国、ﾉﾙｳｴｰ等諸外国と共同で北極域の気候変動に関する大気環境の研究等を行う。）

事　　項	施　　策	概　　要
		②太陽地球系ｴﾈﾙｷﾞｰ国際共同研究計画(STEP) （太陽から対流圏に至る各領域におけるｴﾈﾙｷﾞｰ、物質の輸送と変換を解明する。）
		③地球圏・生物圏国際共同研究計画(IGBP) （全地球ｼｽﾃﾑを制御する物理的・化学的・生物的相互作用の諸過程を解明しようとする大型国際共同研究計画を行う。）
		④南極地域観測 （南極地域の地球物理学諸現象を解明するための観測及び調査研究を行う。）
	4. 国際機関との協力 （　36） 40	○　ﾕﾈｽｺの地球環境科学事業への協力(信託基金の拠出等) ①人間と生物圏計画(MAB) ②国際水文学計画(IHP) ③政府間海洋学委員会(IOC)事業(WESTPAC)
	5. 新ｴﾈﾙｷﾞｰ開発研究の推進　（8,759） 10,695	○　地球温暖化の防止等に貢献する新ｴﾈﾙｷﾞｰの開発研究
	6. 科学研究費補助金「重点領域研究」による研究の推進　（2,323） 2,382	○　科学研究費補助金「重点領域研究」による地球環境科学に関する研究 ①人間－環境系の変化と制御 ②ｵｰｼｬﾝﾌﾗｯｸｽ －地球圏・生物圏におけるその役割－ ③近代化による環境変化の地理情報ｼｽﾃﾑ等
普及・啓発、環境教育の推進	1. 社会教育活動総合事業の推進　（610のうち） 610のうち	○　市町村が公民館等において行う環境保護のための講座の開設等に対する補助
	2. 社会教育施設活性化支援事業の推進（　0） 144	○　公民館における環境保全等の課題に関する学習機会の企画・開発、ﾌｫｰﾗﾑの実施など、地域の社会教育施設が中心となって行う事業に対する補助
	3. 環境教育推進費の推進 （　11） 11	○　環境教育に関するｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ・研究協議会の開催、学校における環境教育指導資料の作成
合　　計	（37,472） 38,517	対前年度　5.5％増

(注1)　()書きは、平成３年度当初予算額である。

(注2)　6. 科学推進費補助金は、推計により算出。

(注3)　端数の関係で、各項目の数値の合計と計の欄の数値とは合致しない場合がある。